

竹林造園 株式会社環境行動計画

取組方針

竹林造園 株式会社では、造園総合緑化設計施工を中心に、北陸加賀地方という自然や文化に恵まれた地で育んだ感性を活かし、和みの空間を造っており、代々伝わる伝統技術を継承し、時代に合う空間デザインや新しい工夫・技能を取り入れ、お客様の豊かな生活に少しでもお役に立てればと考えており、当社の事業活動を進めていく中で、環境保全が重要課題の一つであることを認識し、地球環境との調和、地域社会との融和を図りながら進歩・発展していくことを目指します。このため、私たちは事業活動に伴う環境への付加を少なくするために、以下の取組を社員一丸となって推進します。

取組方針の宣言について

取組方針は、次の事項を考慮して策定・宣言します。

- ① 事業活動中での省エネルギー
- ② 事務部門における廃棄物の削減
- ③ 4S（整理・整頓・清掃・清潔）

この方針に基づいて社員一人ひとりが自主的に環境保全活動に取り組むため、取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全社員に周知します。

平成2年7月27日

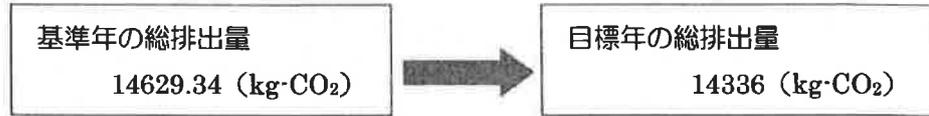
竹林造園 株式会社

代表取締役 竹林 臣夫

3 環境負荷の低減目標

29年に向けての環境負荷の低減目標は、次のとおりです。(数値的な低減目標についての基準年度は、いずれも27年です。)

【目標1】 二酸化炭素の総排出量を2%削減する



【目標2】 産業廃棄物の排出量の削減と適正管理を推進する

【目標3】 水使用量を2%削減する



4 環境保全に向けた具体的な取組

【取組1】 二酸化炭素排出量の削減

(事務所での取組)

- 事務室の空調温度を適正(冷房時28度、暖房時20度)に設定する
- グリーンカーテンや簾・ブラインド等により日差しを和らげ、冷房効率を高める
- 昼休み消灯と人のいない部屋の消灯を徹底する
- パソコンとコピー機の節電機能を活用する
- エアコンの使用期間中は、毎月1回フィルターを清掃する
- ノー残業ディを設ける
- 休日前には使用しない電子機器のコンセントを抜く

(車両での取組)

- 社用車の効率的な使用(運転経路、相乗り)を徹底する
- アイドリングの防止と無駄のないアクセル操作を心がける
- 車の空調温度を適正温度に設定する
- 車両の点検を定期的に行う
- 給油時タイヤの空気圧をチェックし、燃費の向上に努める

【取組2】 廃棄物の適正管理と排出量の削減

(産業廃棄物)

- 廃棄物の分別仕様を再検討し、置き場を整備する
- 廃棄物管理票(マニフェスト)の管理を徹底する
- 軍手は使用限度を定め、無駄に廃棄しない
- リサイクルしやすい製品を優先的に購入する

【取組3】 コピー用紙使用量の削減

- ・ 両面印刷、両面コピーを徹底する
- ・ 使用済み用紙の裏面を利用する
- ・ 書類、資料の電子データ化を進める

【取組4】 水使用量の削減

- ・ 配管からの漏水を定期的に点検する
- ・ 手洗い場に節水を呼びかける標語シールを掲示する
- ・ 洗車用のホースに手元コックを取り付ける
- ・ 水道蛇口に節水こまを設置する

5 環境行動計画の実施体制

社長を委員長とする環境活動委員会を設け、半年に1度ごとに取組目標の進捗状況と具体的な取組の実施状況をチェックします。